

# GRAF 分詞

現在分詞、ジェロンディフ、過去分詞を使って作る構文を分詞構文と呼ぶが、会話ではジェロンディフを除いてあまり使われず、どちらかと言えば書き言葉で用いられる構文である。過去分詞の作り方については別プリント。

**❶** 現在分詞とジェロンディフの形態

現在分詞には単純形と複合形の2つがある。単純形は、直説法現在形の **nous** の活用を作り、語尾の **ons** を削除、残った前の部分に、全ての現在分詞に共通の語尾 **ant** をつけることで完成。**danser** の場合：直説法現在形 **nous dans**ons**** → **dans**ant****、**finir** の場合：直説法現在形 **nous finiss**ons**** → **finiss**ant****、**faire** の場合：直説法現在形 **nous fais**ons**** → **fais**ant****。この作り方で作れないのは次の3つだけ。以下の3つはこのまま覚える：**avoir** → **ayant**、**être** → **étant**、**savoir** → **sachant**。複合形は複合過去形のように助動詞＋過去分詞で作る。

現在分詞複合形	<b>danser</b> → <b>ayant dansé</b> 、 <b>venir</b> → <b>étant venu</b> （ <b>ayant</b> = <b>avoir</b> 、 <b>étant</b> = <b>être</b> の単純形）
ジェロンディフ	<b>danser</b> → <b><u>en dansant</u></b> （ <b>en</b> + 現在分詞単純形）

**❷** 現在分詞の用法

現在分詞も、ジェロンディフも単独では使われず、必ず、〔主語＋動詞〕の主節と共に使われる。基本的には、主節の行為との同時性を表す。どちらも語尾に **e** や **s** がつくといった性数一致は一切しない。

<b>(1) <u>Je regarde mes enfants</u></b>	<b><u>jouant dans le jardin</u></b> .	「私は庭で遊んでいる子供達を見ている」
主節	分詞節（従属節）	
	<b>qui jouent dans le jardin</b> .	

この例では、**jouant dans le jardin** という現在分詞 **jouant** (**jouer**) を含む分詞節が、「私が見ている (**Je regarde**)」子供達 (**mes enfants**) が何をしている最中なのかを説明する。見る (**regarder**) と遊ぶ (**jouer**) が同時。現在分詞のまとまりは、**qui jouent dans le jardin** で書き換えることができ（会話ではこちらが普通）、また、働きとしては、**mes enfants** という名詞のまとまり（名詞句）の説明をする**形容詞**に近い。**jouant** には **je, tu** などの文法上の主語はないが、意味上の主語は **jouant** のまとまりがかかっている名詞、つまり **mes enfants** になる。

<b>(2) <u>Je regardais mes enfants</u></b>	<b><u>jouant dans le jardin</u></b> .	「私は庭で遊んでいた子供達を見ていた」
主節	分詞節（従属節）	
	<b>qui jouaient dans le jardin</b> .	（ <b>jouer</b> が半過去形になった点に注意）

この例では、**regarder** が現在形から半過去形になったが、現在分詞の部分は変わっていない。現在分詞は同時性を表すので、「見ていた」のが過去なら、「遊んでいた」も過去の出来事と理解される。つまり、現在分詞という名前でありながら、現在の行為を表すとは限らない。現在分詞（ジェロンディフも）自体は時間の情報を持たないので、主節の動詞（上例では **Je regardais**）を見なければ、過去なのか、現在なのか、未来なのかは不明。

現在分詞には、複合過去形のように、助動詞＋過去分詞で作る複合形がある。これは、同時性を表す単純形と異なり、時間的に主節の内容よりも前であること（先行すること）を表す。

<b>(3) <u>Ayant trop mangé, j'ai mal au ventre</u></b> .	「私は食べ過ぎたのでお腹が痛い」
分詞節（従属節）	主節

上例の場合、「お腹が痛い (**j'ai mal au ventre**)」より、「食べすぎた (**ayant trop mangé**)」のほうが時間的に前であることを示す。次のように複合形ではなく単純形にすると、

<b>(4) <u>Mangeant trop, j'ai mal au ventre</u></b> .
---

現在お腹が痛いのに、現在も食べ過ぎていることになる。ジェロンディフには複合形がないので先行を表せない。

**❸** ジェロンディフの用法

<b>(5) <u>Il travaille</u></b>	<b><u>en écoutant la radio</u></b> .	「彼は、ラジオを聞きながら仕事をしている」
主節	分詞節（従属節）	

分詞節は、現在分詞の場合と異なり、主節内の名詞にかかっているのではなく、主節全体にかかる。ジェロンディフのまとまりの意味上の主語は、主節の主語（ここでは **il**）になる。

ジェロンディフによる分詞節が「仮定」を表すことがある。

<b>(6) <u>En travaillant bien, tu gagneras beaucoup d'argent</u></b> .	「君は、よく働けばたくさんお金を稼げるだろう」
分詞節（従属節）	主節

現在分詞の場合同様、ジェロンディフ自体は時間の情報を持たない。従って、**En travaillant bien** を、主語＋動詞を使って書き換えればどうなるかは、主節の動詞（ここでは **gagneras**）から逆算する。上例の場合、**tu gagneras** と単純未来形なので、**En travaillant bien** は **Si tu travailles bien**（現在形）と同じ意味だろうと推測する。

<b>(7) <u>En travaillant bien, tu gagnerais beaucoup d'argent</u></b> .	「君は、よく働けばたくさんお金を稼げ <b>た</b> だろう」
分詞節（従属節）	主節

この場合は、**tu gagnerais** が条件法現在形なので、ジェロンディフを書き換えれば **Si tu travaillais**（直説法半過去形）になるだろうと予想する。仮定文の時制の組み合わせを思い出してみるとよい。**En travaillant bien** には **Si** が付かないことに注意（**Si en travaillant** は不可）

<b>❹</b> 現在分詞とジェロンディフの違い
--------------------------

<b>(8) <u>Paul a vu Marie</u></b>	<b><u>en sortant du cinéma</u></b> .	「P は映画館から出てきて M に会った」
<b>(9) <u>Paul a vu Marie</u></b>	<b><u>sortant du cinéma</u></b> .	「P は映画館から出てきた M に会った」
<b>(10) <u>Sortant du cinéma, Paul a vu Marie</u></b> .		「映画館から出てきて P は M に会った」
<b>(11) <u>En sortant du cinéma, Paul a vu Marie</u></b> .		「映画館から出てきて P は M に会った」

**(8)**はジェロンディフなので、意味上の主語は主節の主語（**Paul**）になるから、映画館から出てきたのは **Paul**。**(9)**は現在分詞なので、かかっている名詞（**Marie**）が意味上の主語になり、映画館から出てきたのは **Marie**。**(10)**も現在分詞だが、一番近い名詞が **Marie** ではなく **Paul** になるので、映画館から出てきたのが **Paul** になる。**(11)**はジェロンディフだが、ジェロンディフのまとまりはどこにあっても（主節の前でも後でも）、主節の主語が意味上の主語になるので、映画館から出てきたのは **Paul**。結局、**(8)(10)(11)**は意味上、差がなくなる。

	形態	機能	意味上の主語
現在分詞	複合形あり	形容詞的	原則として最も近い名詞
ジェロンディフ	複合形なし	副詞的	原則として主節の主語と同一

**❺** 現在分詞を使った絶対分詞構文

現在分詞には、通常、文法上の主語がつかないが、これをつけたものを絶対分詞構文という。

<b>(12) <u>Son enfant étant malade, elle n'est pas venue</u></b> .	「子どもが病気だったので彼女は来なかった」
分詞節（従属節）	主節

**étant** は **être** の現在分詞だが、**son enfant** という文法上の主語がついている。この文は、原因・理由を表す **Comme**（接続詞）をつけた次の文に近い（分詞構文では接続詞がつかないことに注意）。

<b>(13) <u>Comme son enfant était malade, elle n'est pas venue</u></b> .	
従属節	主節

元の文の **son enfant** を削除し

<b>(14) <u>Étant malade, elle n'est pas venue</u></b> .	「病気だったので彼女は来なかった」
---	-------------------

とすると、**étant malade** は一番近い名詞（正確には名詞と同じ働きをする代名詞 **elle**）にかかるので、病気なのは彼女自身ということになる。ジェロンディフの場合には、原則として主節の主語が意味上の主語になるので、絶対分詞構文はない。

（裏面へ続く）

#### ⑥ 過去分詞の用法

過去分詞は、助動詞と一緒に使って複合過去形、大過去形などを作るが、ここでは助動詞なしに過去分詞単独で用いられる場合について説明する。過去分詞単独の場合、働きは形容詞に近く、かかっていく名詞（代名詞）の性数に一致させるが、意味的には、その動詞が自動詞（直接目的語をとらない動詞）なのか他動詞（直接目的語をとる動詞）なのかを区別する必要がある。自動詞の過去分詞は時間的に前であること、先行することを表し、他動詞の過去分詞は多くの場合、受身を表す。

(15) **Arrivés** à Paris, nous sommes allés au Louvre. 「パリへ着くと、私達はルーブル美術館へ行った」

**Arrivés** に **s** が付いているのは、**Arrivés** がかかっていく **nous** に合わせているから。**Arrivés** ← **arriver** は自動詞（直目をとらない）なので、単に **nous sommes allés** よりも前に「到着」したことを表す。

(16) **Sur la table, il y a une lettre écrite** par Paul. 「テーブルの上にはポールによって書かれた手紙があった」

**écrite** に **e** が付いているのは、**écrite** がかかっていく **une lettre** が女性名詞だから。**écrite** ← **écrire** は他動詞（直目をとる）なので、意味は「書く手紙」ではなく「書かれた手紙」となる。通常の受動態同様、動作主補語（誰によって）を付けることもできる。

#### ⑦ 過去分詞を使った絶対分詞構文

現在分詞を使った絶対分詞構文同様、過去分詞が独自に意味上の主語を持つ構文。会話ではほぼ使われない。

(17) **L'été fini, nous sommes rentrés à Paris.** 「夏が終わり、私達はパリへ帰った」  
分詞節（従属節）                      主節

**fini** の意味上の主語は **nous** ではなく **L'été**。

(18) **Mes amis partis, je suis parti aussi.** 「友達が出発し、私も出発した」  
分詞節（従属節）                      主節

**partis** の意味上の主語は **Mes amis**。友達が女性複数なら **Mes amies parties** となる。

#### ✂ 確認問題①

以下の動詞の現在分詞を作れ。

- 1. avoir
- 2. être
- 3. chanter
- 4. finir
- 5. faire
- 6. savoir
- 7. vouloir
- 8. pouvoir
- 9. venir
- 10. aller

#### corrigés

1. ayant（作り方例外）， 2. étant（作り方例外）， 3. chantant, 4. finissant, 5. faisant, 6. sachant（作り方例外）， 7. voulant, 8. pouvant, 9. venant, 10. allant

#### ✂ 確認問題②

下線部を現在分詞またはジェロンディフを使って書き換えよ。

1. Nous regardons les filles qui dansent.

2. S'il arrive à 10 heures, il pourra assister à la réunion.

3. Je suis fatiguée, parce que j'ai beaucoup marché.

4. Elle fait la cuisine et elle regarde la télévision.

5. Le chat qui marche sur le mur est mon chat.

6. Le chat qui a marché sur le mur est mon chat.

7. J'ai vu Marie quand je marchais dans la rue.

#### corrigés

1. Nous regardons les filles dansant.（私達は、踊っている女の子達を見ている。qui 以下は名詞 filles を修飾するまつまり＝形容詞的なので現在分詞）

2. En arrivant à 10 heures, il pourra assister à la réunion.（もし 10 時に着いたら、彼は集会・会議に参加できるだろう。下線部は後半の主節にかかる従属節＝副詞的なのでジェロンディフ。仮定を表す節を置き換えるのは、基本的にはジェロンディフ）

3. Je suis fatiguée, ayant beaucoup marché / Ayant beaucoup marché, je suis fatiguée.（たくさん歩いたので私は疲れている。Je suis fatiguée は être の現在形（fatiguée は形容詞）だが、j'ai marché は複合過去形と、2つの動詞の時制がずれている＝同時性ではないことに注意。時間的に前であること＝先行することを表すのは複合形だが、ジェロンディフには複合形がないので、この問題のように、2つの時制がずれている場合には現在分詞の複合形（ayant / étant + 過去分詞）を使うしかない。fatiguée で je が女性と分かるが現在分詞は一致しない。

4. Elle fait la cuisine en regardant la télévision.（彼女はテレビを見ながら料理をする。2つの文の動詞がどちらも現在形＝同時性。下線部が et 主語＋動詞 になっていることに注意。下線部全体が前半（節）にかかっている＝修飾しているので、下線部の働きは副詞）

5. Le chat marchant sur le mur est mon chat.（壁の上を歩いているネコは私のネコだ。最初の問題と同じく、qui 以下は名詞 chat を修飾しているので形容詞的）

6. Le chat ayant marché sur le mur est mon chat.（壁の上を歩いたネコは私のネコだ。qui 以下は名詞 chat を修飾しているので形容詞的だが、a marché は複合過去形であるのに対し est は現在形と、時制がずれているので、複合形が必要）

7. J'ai vu Marie en marchant dans la rue.（道を歩いている時、私はマリーに会った。quand（英語 when）以下は、J'ai vu Marie した時の時間説明。下線部は副詞の働きに近いのでジェロンディフ。